

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 稲城市立稲城第四小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒206-0811
東京都稲城市押立1250番地
 E-mail : inagi4e@educet.plala.or.jp
 Website : http://academicl.plala.or.jp/ine4e/
 児童生徒数：男子 291名 女子 265名 合計 556名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1年生

●「きせつとあそぼう（あきといっしょ）」（生活科）

夏と秋、2回に渡って学区内探検した。自然に目を向けることで、夏から秋への季節の移り変わりに気付くことができた。また、秋の実を使って、遊ぶ楽しさを知り、友達と協力をしておもちゃ屋を開くことができた。

●「みんなのにこにこだいさくせん」（生活科）

自分や友達がどんな時に「にこにこ」しているのかを考え、身近な存在である家族がどんな時に「にこにこ」しているのかを話し合った。そしてその中からお手伝いをして家族を「にこにこ」させることにした。お手伝いをする事で家の人の大変さや有難さ、お礼を言われた時、もっと誰かのためにお手伝いがしたいという思いをもつことができた。

2年生

●「まちをたんけん大はっけん」（生活科）

学区域で見つけたすてきな人や店に探検に行き、仕事の内容や仕事で頑張っていることや大変なことなどをインタビューした。それらをまとめて新聞にしたり、劇にしたりして表現した。

●「めざせ生きものはかせ」（生活科）

学区域にある用水路に出かけて小さな海老や魚を網ですくったり、釣竿を作ってザリガニを釣ったりした。ザリガニや海老は学級内の水槽で飼育し観察を続けた。多摩川原に出かけてバッタなどの昆虫を捕まえ観察した。

3年生

●「わたしたちの町のすてきな人」（総合的な学習の時間）

町に住む、すてきな人に話を聞いて、すてきの秘密を探る活動を通して地域の魅力を改めて実感させた。そして、児童自身もすてきな人になりたいと考え、地域の花壇に花を植えたり、清掃を行ったりした。

●「われら安全マイスター」（総合的な学習の時間）

安全な場所、危険な場所とはどのような場所なのか知り、自分たちの住む地域の安全な場所や危険な場所を探す活動を行った。そのことについて安全マップにまとめ、2年生や保護者に発表した。

4年生

●「心のバリアフリー」(総合的な学習の時間)

「高齢者」とはどのような方々のことを表す言葉なのかを知り、実際に老人会の方や、高齢者施設を訪問した。さらに「高齢者体験グッズ」を使い体験をしたり、様々なことを教えていただいたりする活動を通して、理解を深めた。そして、高齢者の方との関わり方について考え、ふれあい給食会にお世話になった高齢者の方々を紹介して自分たちで考えた給食を食べていただいたり、一緒に楽しめるような遊びを行ったりした。

●「私たちの町の郷土芸能」(総合的な学習の時間)

自分たちの住む町の郷土芸能を実際に体験し、興味を深め、詳しく調べる活動を行った。郷土芸能を引き継いでいる方々の気持ちを知り、自分たちでできることを考え、「いなぎ太鼓の発表会」を開いた。

5年生

●「四小環境調査隊」(総合的な学習の時間)

身近な自然にはどのようなものがあるか考え、多摩川の生き物について調べた。(環境教育・東京農工大学と連携)

●「地域のために私たちができること」(総合的な学習の時間)

地域にある仕事について考え、その中の保育園の仕事について知り、どのようなことができるか考えて実際に活動を行った。

(キャリア教育・保育園と連携)

6年生

●「稲城と野沢の未来をつなごう」(総合的な学習の時間)

宿泊体験学習で行く、野沢温泉村はどのような所なのかを調べ、稲城市と野沢温泉村を未来へつなぐためにできることを考えた。1つ目に、稲城市の魅力を野沢温泉村に訪れる方々に伝えるパンフレットを作った。2つ目に野沢温泉村を地域の人に紹介をした。3つ目に、野沢温泉村の魅力的なところを稲城市にも取り入れた、未来都市計画を立て、環境課の方にプレゼンテーションを行った。(環境教育・東京農工大学、稲城市環境課と連携)

●「様々な国の人を迎えよう」(総合的な学習の時間)

稲城市に外国の方を迎えるためにどうしたらよいか考え、外国について調べた。外国の方が日本に来た時に困りそうなことを考え、それに対する対策を考え、外国の方に意見をもらった。また、日本のことについて紹介し、興味をもっていただけるように外国の方との交流会を開いた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）